

医師の数だけ、「思い」がある。

第2回

札幌医人伝

札幌には、各分野の第一線で活躍する医師たちがいる。
情熱のカチは異なっても、患者のことを思う気持ちに変わりはない。
そんな「医人」たちの横顔に迫ってみた。



その卓越した技術で日本全国の患者を救い、TVや雑誌、講演会などメディアへの登場も多い石部院長。著書に「老けない体」は股関節で決まる! (すばる舎)。

股関節・人工股関節・MIS専門整形外科医

石部基実クリニック

石部基実 狩谷哲

Ishibe Motomi

Kariya Satoru

合理的な診療スタイルと
精度の高い技術で
よりハイレベルな医療を

現代日本人の変形性股関節症有病率は、およそ1%から5%と言われている。欧米人に比べ平均寿命が延び、先天的な股関節の変形が多いこと、そして一昔前に比べ生活様式が変化して肥満体質の人が増えたことなどが、浅からぬ因果として考えられるようだ。特に深刻な変形性股関節症による股関節痛に有効とされるのは、大腿骨と骨盤にチタン合金などで作られた人工関節を埋め込む人工股関節手術。その手術に特化したクリニックとして多くの支持を得ているのが「石部基実クリニック」だ。道内は元より全国各地から患者が訪れ、診療専用のツアーパックが組まれるほど。石部基実院長と狩谷哲副院長のふた

りで、今年に入ってからすでに200件以上の手術を行っている。

「今日お見えになった新潟県の方は、私が5年前に手術をした方のご紹介でいらつしました。今は多くの方がインターネットで病院を調べて来られますが、昔ながらの口コミもまだ意外と多いんですよ」と語る石部院長。評判が評判を呼ぶその理由として、ひとつは欧米に倣った合理的な診療スタイルが挙げられる。

「外来診療は私どものクリニックで対応し、手術は提携病院である『小笠原クリニック札幌病院』で行っています。一番のメリットは、専門性の高さ。外来では医師だけでなくナースも事務スタッフも適切な説明ができますし、手術を行う病院でも、人工股関節に特化した手術を多く担当することで、よりレベルの高い技術を提供できるようになるわけ

す(石部院長)

「私がこのクリニックに勤務することになったのも、それがきっかけでした。欧米ではクリニックと病院がそれぞれ独立している形式がほぼ一般的なのですが、日本ではまだあまり馴染みがないんですよ。そんなスタイルをいち早く取り入れているという話を聞いて手術見学をさせていただき、患者さんのことを第一に考えられる院長の姿勢に大いに感銘を受けたんです」(狩谷副院長)

もうひとつの特色は、確かな技術と最先端のシステムを融合させた手術方法。手術創を最小限にとどめ筋肉や皮膚へのダメージを抑えるMIS(最小侵襲手術)の精度を高めるため、手術用ナビゲーションシステムを導入している。CT検査から割り出した患部の位置情報を元に行う手術は、切開が小さく目視できる情報量が少ないMISのデメリ



パートナー医師として理念を共有し、きめの細かな医療を追求する石部院長と狩谷副院長。ふたりの治療を受けた患者の有志により結成された「患者の会」では、同じ病気に悩む人たちが情報交換を行っている。

ットを補い、よりの確な位置に人工関節を配置することが可能。脱臼やゆるみなどによる再置換手術のリスクを軽減すると同時に、股関節の変形が強い症例を含めたより多くの患者に対して、精神的にも負担の少ないMISを施せる。MISを受けた場合の入院期間は10日前後と短く、早い人では4、5日で退院が可能なケースも。

「実際に手術が必要になった場合、決心されるまでに時間がかかる方も少なくありません。そういう意味でも、やはりできるだけ手術を受けやすい環境を私どもで整えることが大切になってきますね。入院期間が短く社会復帰が早いMISも、その一環だと思っています。手術前には患者さんの不安な点を伺って、それに対してできるだけ客観的に、こういった合併症がこれぐらいの確率で起こりますということもきちんと明示していますね。その上で、最終的に手術を受けるかどうかを自身で判断していただきます。手術を成功させた自分自身の達成感よりも、手術治療が終わって外来にいらした方に、痛みが取れて明るく楽しい生活を送っている」という話を聞くのが、我々にとって一番うれしいことですね(石部院長) 診療室に飾られた二枚の色紙には、「半ばは自己の幸せを 半ばは

手術が終わって外来にいらした方に
痛みが取れて明るく楽しい生活を送っている」という話を聞くのが
我々にとって一番うれしいことですね。

PROFILE

狩谷哲(かりや・さとる)

1969年生まれ、長野県出身。1994年、金沢医科大学医学部医学科卒業、昭和大学医学部整形外科教室入局。2001年、昭和大学病院整形外科助手(股関節班チーフ)。2004年、Anderson Clinic(アメリカ・ヴァージニア州)留学。2006年、総合高津中央総合病院整形外科医長。2010年、石部基実クリニック。2011年、同副院長。 <http://www.satoru-kariya.com/>

石部基実(いしべ・もとみ)

1957年生まれ、東京都出身。1982年、北海道大学医学部卒業、同整形外科入局。1989年、Rochester大学医学部整形外科(アメリカ・ニューヨーク州)。1993年、医学博士。2006年、NTT東日本札幌病院人工関節センタ長。2008年、石部基実クリニック開設。日本整形外科学会専門医、日本股関節学会会員、アメリカ整形外科学会会員、ヨーロッパ股関節学会会員。

石部基実クリニック



札幌市南区真駒内上町1丁目1-25 グリーンプラザ真駒内公園ビル
TEL.011-876-9008
外来診療受付時間 月～金(祝日を除く)9:00～12:00(完全予約制)
<http://www.dr-ishibe.net/>